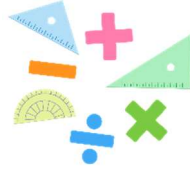




栗小だより



増刊号

令和6年10月

敦賀市立栗野小学校





4月18日に小学6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。今年度は国語と算数の調査と質問紙による調査が行われました。その結果と分析から見えてきた、本校児童の特徴と課題についてお知らせいたします。





「教科に関する調査」の結果から

国語・算数ともに、よくできている設問がある一方で、学習状況を見直すと、いくつかの重要な課題が浮かび上がってきました。特に、図形の体積や面積を求める際に必要な構成要素を見つける力が弱く、正確な計算が困難です。また数量の関係が複雑な問題では、図表を使って関係を整理したり、それを基にして立式したりする力も不足しています。これらの課題に対しては、さらなる練習と具体的な支援が必要です。結果を分析し、今後の対策をまとめました。

★国語

成果が表れている力 	課題となる力 
<p><u>情報の扱い方に関する事項</u> ◎情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使う力。 ○資料を活用し、自分の考えが伝わるように表現を工夫する力。</p>	<p><u>言葉の特徴や使い方に関する事項</u> ▲熟語の意味を手がかりにして、漢字の組み合わせを考える力（「技を競うから競技」など） ▲相手や場面に応じて適切に敬語を使い分ける力 <u>話すこと・聞くこと</u> ▲目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり、関係づけたりして、伝え合う内容を検討する力</p>
支援策	<ul style="list-style-type: none"> ・思考を支えている語彙を豊かにし、考えを文章に表したり、言葉で述べたりするアウトプットの機会を大切にします。 ・相手や目的を意識して関係する情報を整理したり、複数の情報をまとめて伝えたり、聞き手の興味・関心、反応を確かめながら話したりする言語活動の充実を図ります。 ・相手や状況、文字数など、いくつかの条件を設定した作文を取り入れます。

★算数

成果が表れている力 	課題となる力 
<p><u>変化と関係</u> ◎円グラフや帯グラフの特徴を理解し、割合を正しく読み取る力 <u>数と計算</u> ◎示された式の意味を場面と関連付けて読み取ったり、正しく計算したりする力</p>	<p><u>図形</u> ▲図形を構成する要素を見だし、それらを活用して体積を求める力 <u>数と計算</u> ▲数量の関係をつかみにくい問題の解決において、図などを用いて、数量の関係を整理したり、図を基にして式に表したりする力</p>
支援策	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた習熟のために、デジタル教材を活用します。 ・考え方や考えた根拠を説明し合う活動を増やし、適切に表現する力を伸ばします。 ・算数に限らず、図や表にまとめたり、情報を読み取ったりする学習の充実を図ります。

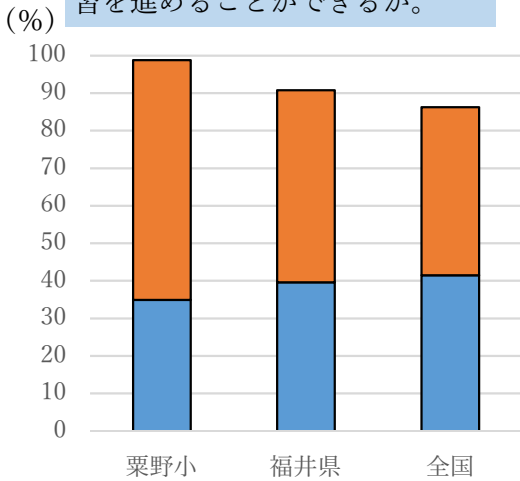


「質問紙」の結果から

■あてはまる
■どちらかといえばあてはまる

★年々向上していることは…

ICTを活用し、友達と協力して学習を進めることができるか。



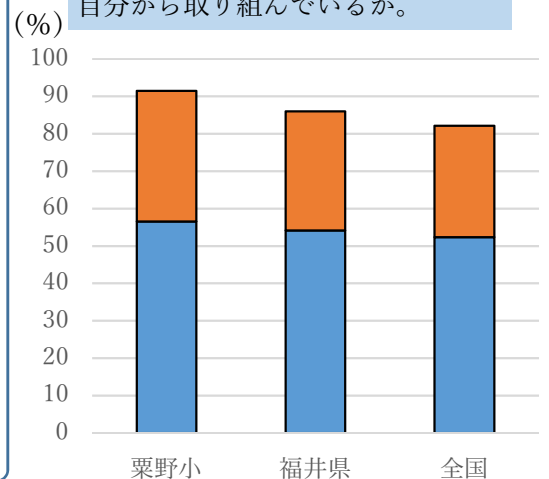
これまでの授業の中で、PCやタブレットなどのICT機器を頻繁に使用してきました。その結果、児童たちは自分のペースで理解を深めながら学習を進めることができるようになってきています。また、ICT機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えるスキルも向上しています。さらに、友達と考えを共有したり比べたりすることが容易になり、協力しながら学習を進める機会も増えました。これらのことから、協働学習を通じて互いに学び合う環境が整い、自律的な学習の習慣が身につけてきました。ICT機器の活用は、児童たちの学習効率を高めるだけでなく、コミュニケーション能力や協力する力の向上にも寄与しています。



児童たちは授業で学んだことや得た知識を日常生活に活かしている様子が見られます。また、課題の解決に向けて自分で考え、自発的に取り組む姿勢が身につけてきています。学習内容についての振り返りをしっかり行い、理解した点や不明な点を確認し、次の学習に繋げる努力もしています。自分が努力すべき目標を設定し、それに向けて取り組む姿勢が育っています。

学級では、友達との話し合い活動を通じて自分の考えを深めたり、新たな視点を発見したりしています。また話し合いの場面では、互いの意見を尊重し合い、力を合わせて解決策を見つけています。情報を整理する技術も学び、様々な学習活動において主体的に取り組む力を伸ばしています。

課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいるか。

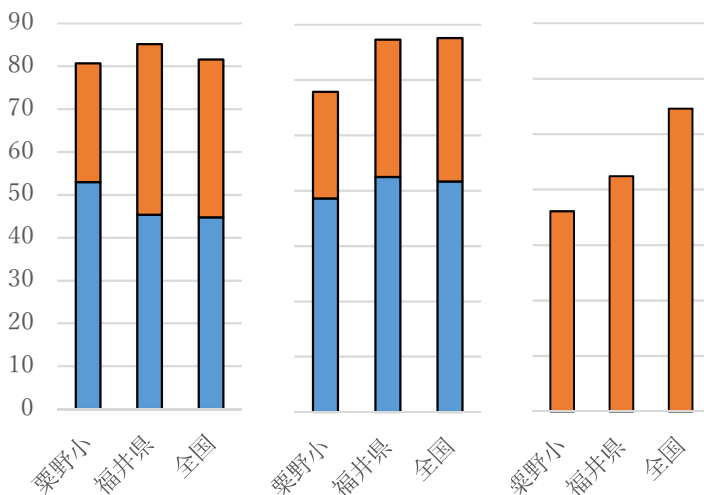


★課題は…

総合の学習で自ら課題を立て情報を集めて整理し発信しているか

考えが伝わるよう工夫して発表しているか

授業以外で、1時間以上勉強しているか



授業では、自分の考えを発表する際に、資料や話の組み立ての工夫が十分ではない児童が多いです。総合的な学習の時間では、自分で課題を設定し、情報を集めて整理する取り組みが不足していることが考えられます。

平日の勉強時間について、多くの児童が学校の授業時間以外に十分な時間を確保できていないことが示されています。週末の勉強時間も同様に、学習のために確保されている時間が不十分であると分かりました。

これらの結果から、学習時間の確保や自ら課題を立て、よりよい解決に向けて主体的に取り組む活動の強化が今後の改善ポイントとして挙げられます。